



朝霞第四小だより

《学校教育目標》

かしこい子
やさしい子
たくましい子

朝霞市立朝霞第四小学校

〒351-0015

朝霞市幸町1-6-9

TEL (461) 0363

E-Mail 4shou@asaka-c.ed.jp

発行責任者 校長 内田 隆

持久走大会を振り返る

校長 内田 隆



先週の19日(月)曇り空のため肌寒い天候の中、持久走大会が行われました。5・6年生は1200m、3・4年生が1000m、1・2年生が800mの距離を走りました。当日は、早朝よりたいへん大勢の保護者、地域の方々が応援に来ていただきました。ありがとうございました。

開会式は時間の関係で、学級での朝の会を活用して放送で行いました。‘校長からの話’だけは各ブロックの準備体操前の時間を使い、直接子供たちに話をしました。「持久走では、とてもつらい、苦しい、歩いてしまいたくなることもあるだろう。弱い自分の心に立ち向かえるかどうかが問われる。立ち向かうためには前に進むこと、後ろを気にするのではなく、考えるべきものは前にある。しっかりと走りぬくこと」と話をしました。

これまで、ぐんぐんタイム(持久走練習)では2割近くの子が見学をしていた現状がありました。ほとんどの子が“健康調査カード”忘れという情けない状況でした。本番でも見学者が多くいるのではないだろうか。そんな心配が頭をよぎりました。しかし真に体調不良者以外は、全員が持久走大会に参加していたのでとても良かったです。(なんだ、できるじゃないか!練習からしっかりとやらないなんて、なんともったいない。自分を高める機会を自ら逃すなんてと思っていました。)

そして3年生男子のスタートの時です。スタートの密集状態の中、私の目の前で、数人の子が転倒してしまいました。その中の一人が足を引きずりコースの外へ。とても悔しかったのでしょ。膝もケガをして痛さもあつたのでしょ。目に涙を浮かべていました。学年職員も心配そうに声をかけます。私はちょっと様子を見て「さあ、行って来い!」。それだけ声をかけました。すると彼は走り始めました。最後尾の子からはすでに50mほど遅れています。でも周回するに従いどんどん順位を上げています。そして無事にゴールすることができました。

とても嬉しかったです。くじけそうになってもそこから自分の力の限りに頑張る。事故がなければもっと上位でゴールできたのでしょ。でも私は彼の姿にとっても感動しました。さらに、たった一言の声掛け(声を掛けなくとも彼はしっかりと走ったのかもしれない)が彼のスイッチを押したんだなあと思うととても嬉しかったです。こんなことがあるから、感動をもらえるから教師はやめられないのです。

給食の時間に3年生のクラスに行くとその彼、西田君は友達と楽しそうに給食をたくさん食べていました。なんて気持ちの良い子なのでしょ。ぜひ今年の持久走大会を忘れずにいてほしいと思いました。

きっとほかの子供たち一人一人にもドラマがあつたと思います。感動したこと、努力したこと、楽しかったこと、行事を通して学んだことを大切にしてほしいと思いました。